

最近の経済動向

平成28年6月号

北海道の景気動向（平成28年4月の経済指標を中心として）

一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

■需要動向（消費・投資）

- P 1 個人消費（百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、新車登録台数）
緩やかに持ち直している
- P 2 住宅建設（新設住宅着工戸数）
緩やかに持ち直している
- P 3 公共工事（公共工事請負金額）
増加している
- P 3 観光（来道者数）
改善している
- P 4 輸出入（輸出入額）
輸出額、輸入額とも前年を下回った

■生産動向

- P 4 生産活動（鉱工業生産指数）
一進一退の動きとなっている
- P 5 企業倒産（件数、負債総額）
件数、負債総額とも増加した

■雇用動向

- P 6 求人・求職（月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率）
改善している
- P 7 失業（完全失業者数、完全失業率）

■物価動向

- P 7 物価（消費者物価指数）
消費者物価指数は前年を下回った

■企業情報

- P 8 企業のみなさまから伺いました

■地域の経済動向

- P 10 道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

■景気動向指数・全国の景気

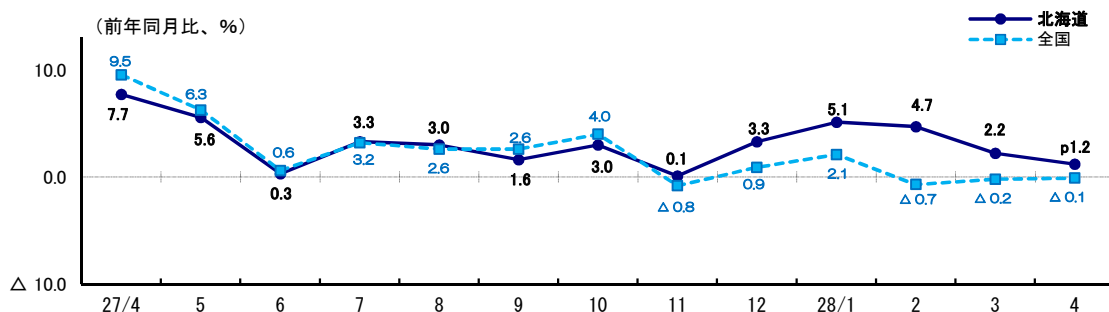
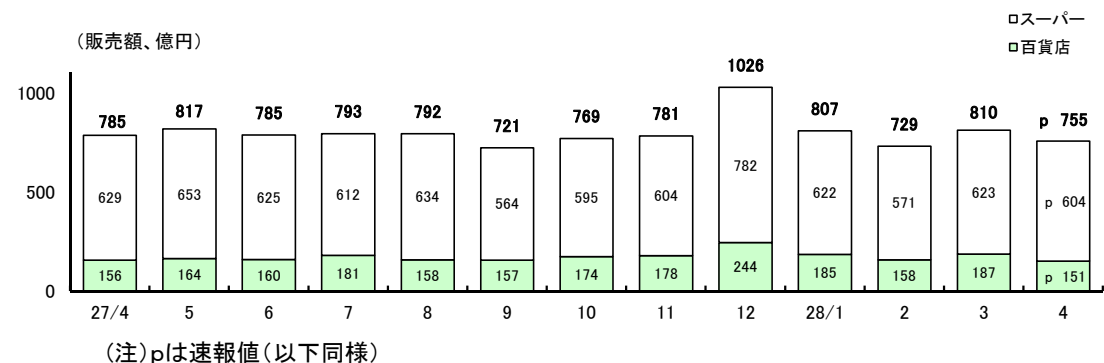
- P 16 北海道の景気動向指数
- P 17 全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

■個人消費～緩やかに持ち直している

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(4月)◆

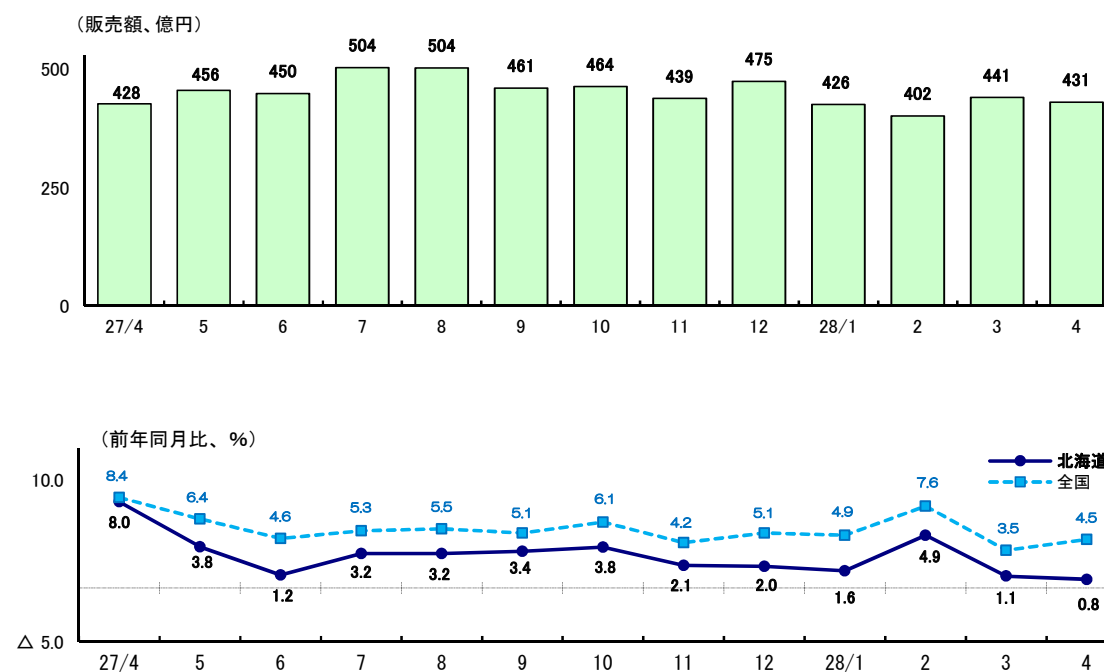
百貨店・スーパー販売額は、755億円で前年同月比1.2%の増加となり、13か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(4月)◆

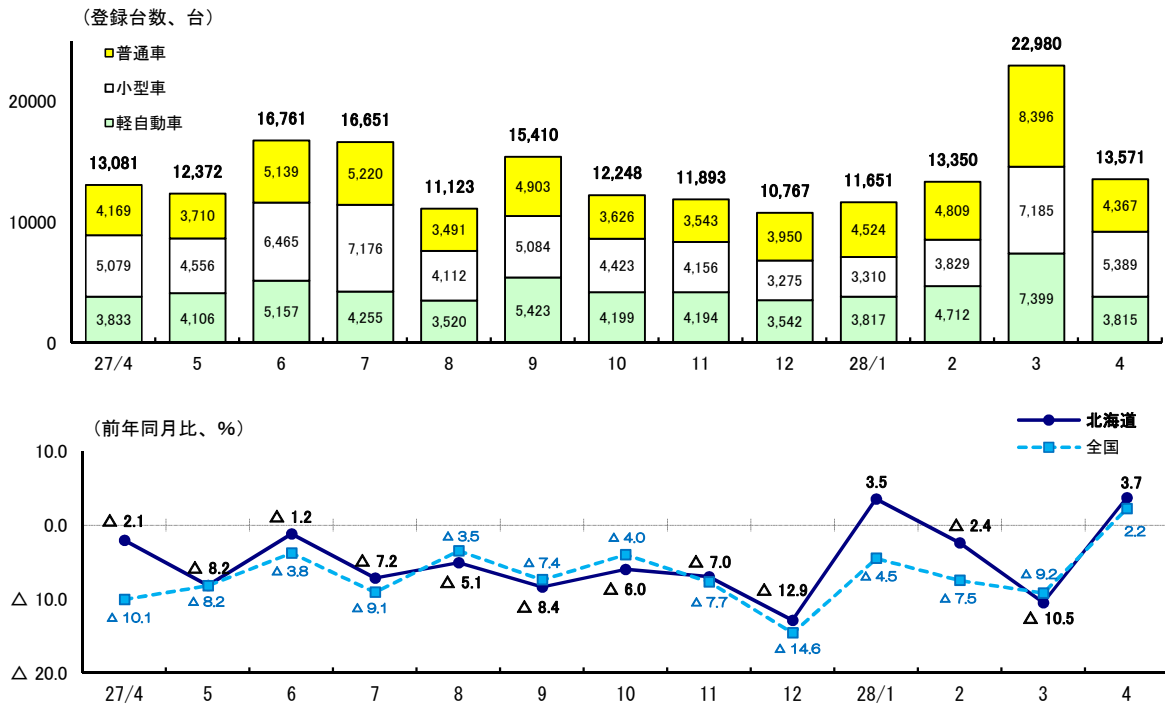
コンビニエンスストア販売額は、431億円で前年同月比0.8%の増加となり、31か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（4月）◆

新車登録台数は、13,571台で前年同月比3.7%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。

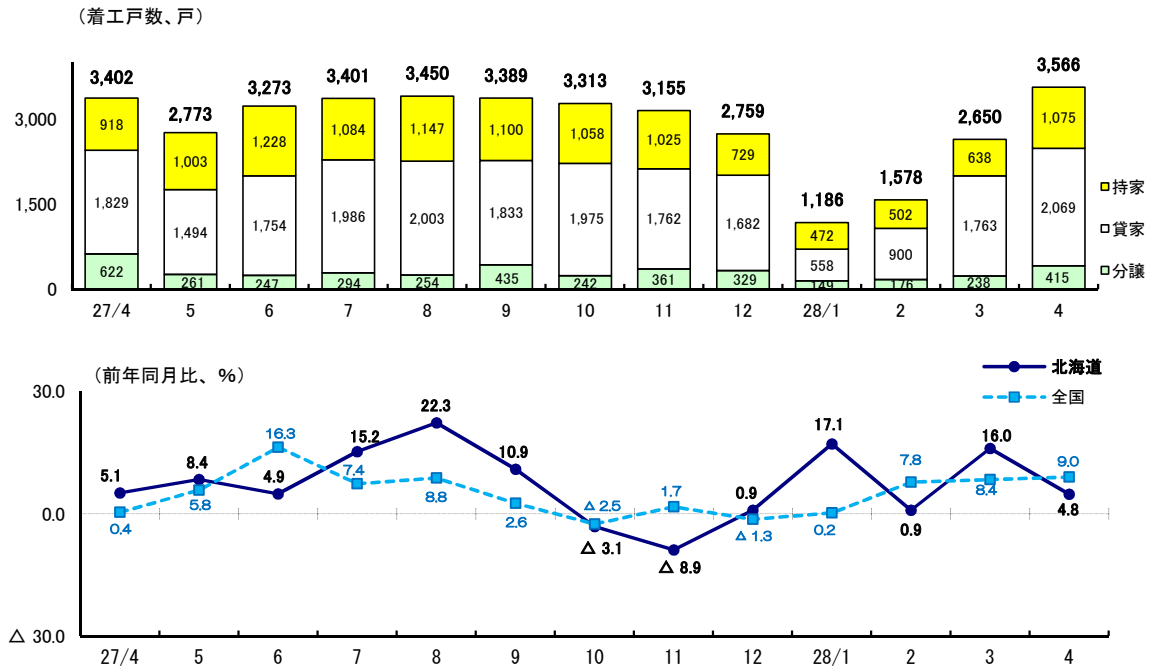


((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設～緩やかに持ち直している

◆新設住宅着工戸数（4月）◆

総戸数は、3,566戸で前年同月比4.8%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。

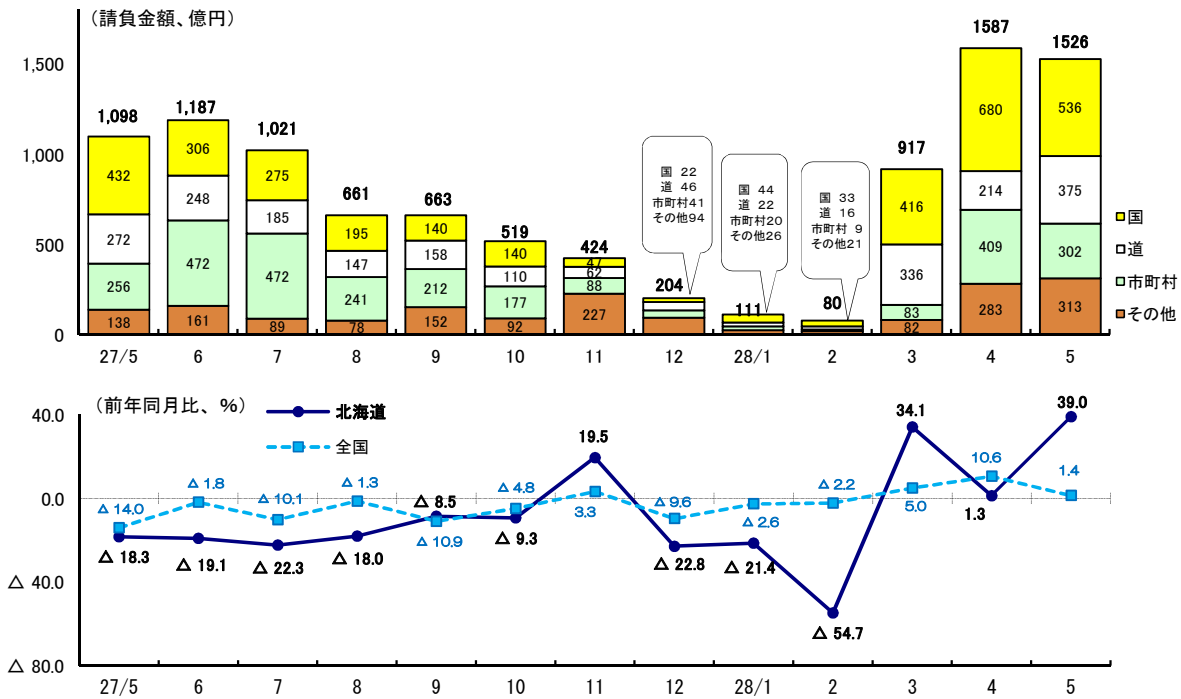


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～増加している

◆公共工事請負金額（5月）◆

請負金額は、1,526億円で前年同月比39.0%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

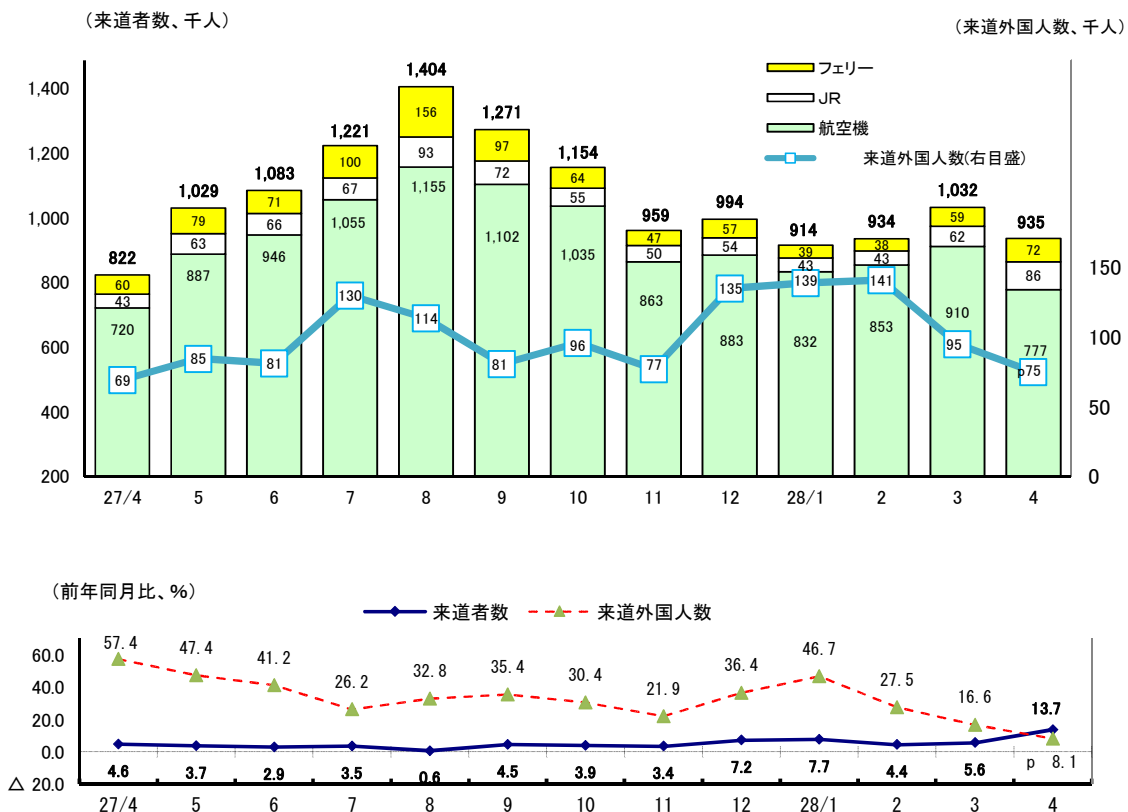


■観光～改善している

◆来道者数（4月）◆

来道者数は、93万5千人で前年同月比13.7%の増加となり、18か月連続で前年を上回った。

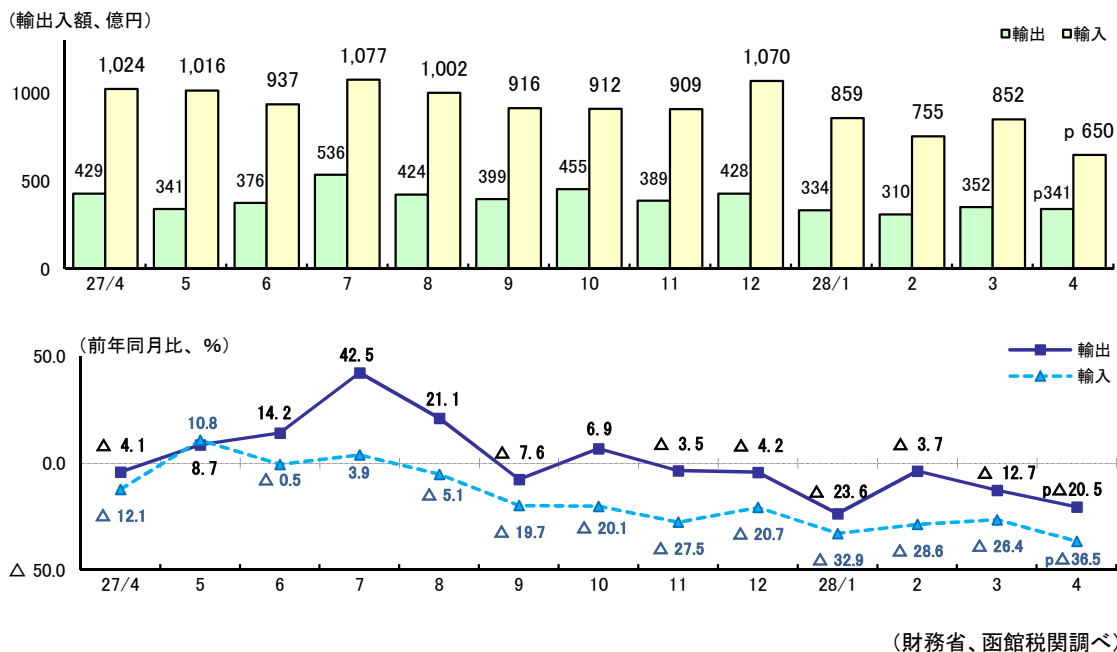
本道に直接入国した外国人は、7万5千人で同8.1%の増加となり、39か月連続で前年を上回った。



■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

◆輸出入額（4月）◆

輸出額は、341億円で前年同月比20.5%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。
輸入額は、650億円で同36.5%の減少となり、9か月連続で前年を下回った。

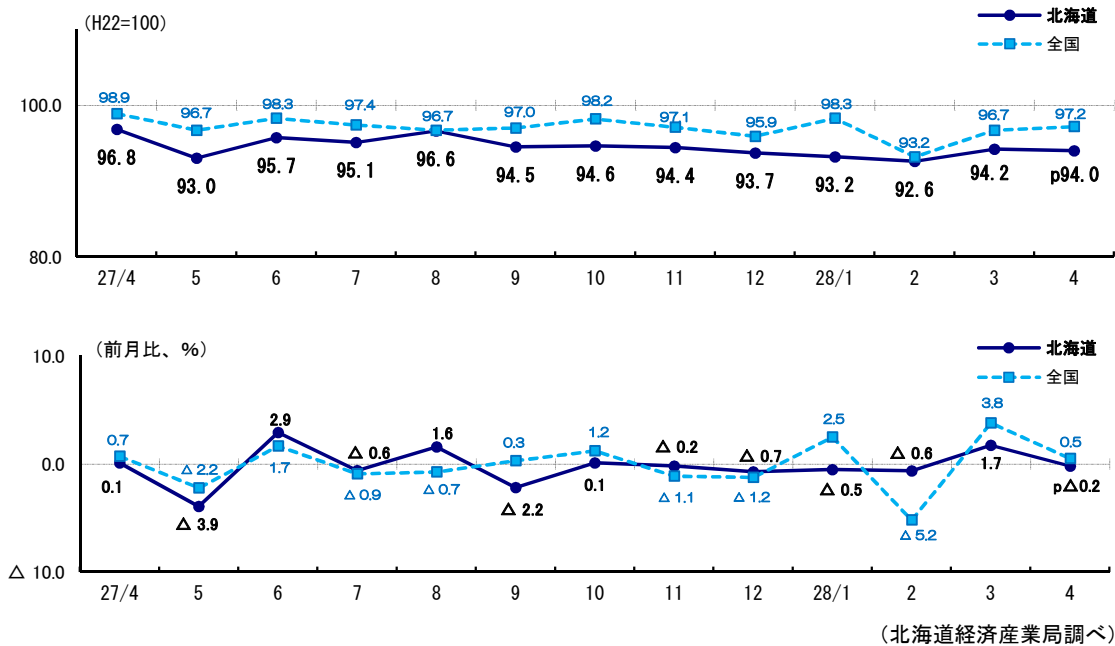


[生産動向]

■生産活動～一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（4月）◆

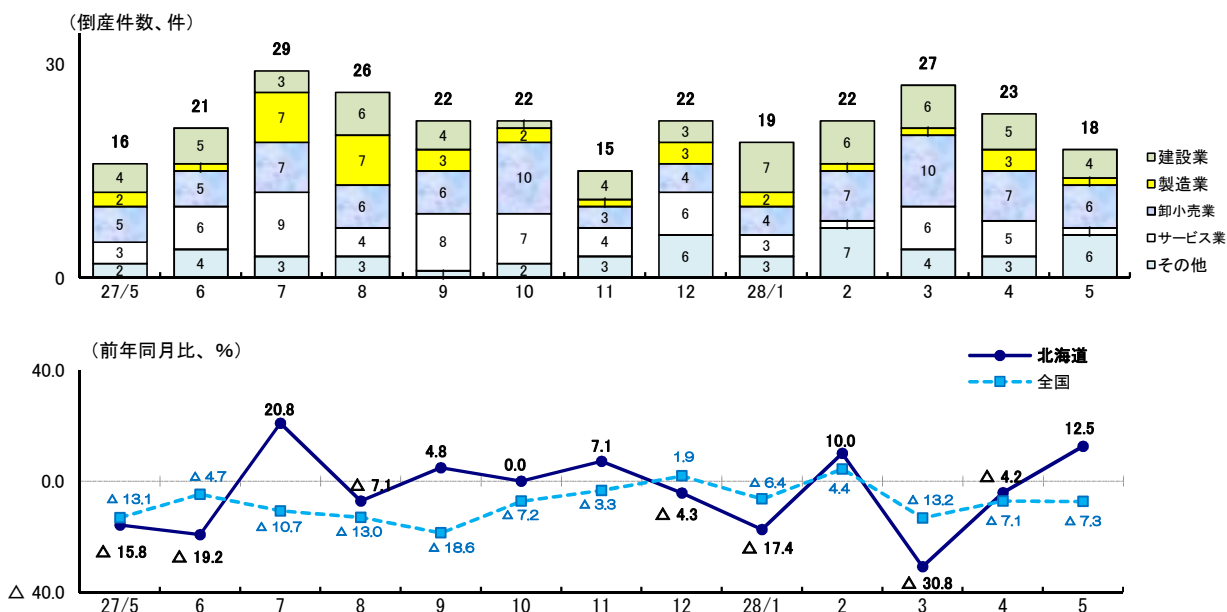
鉱工業生産指数(季節調整済)は、94.0で前月比0.2%の低下となり2か月ぶりに前月を下回った。



■企業倒産～件数、負債総額とも増加した

◆件数（5月）◆

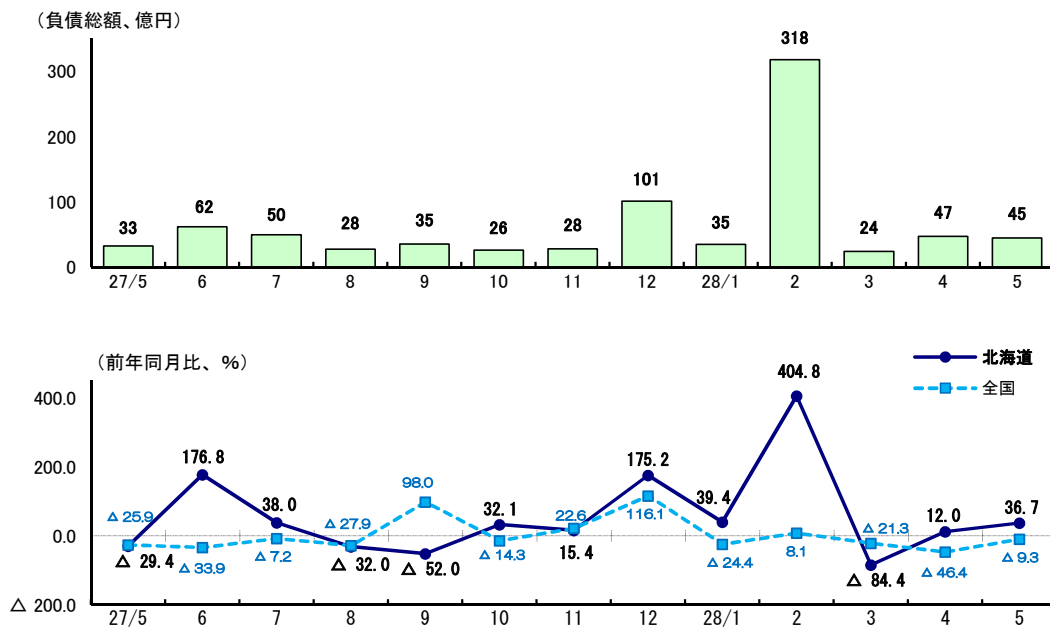
件数は、18件で前年同月比12.5%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆負債総額（5月）◆

負債総額は、45億円で前年同月比36.7%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



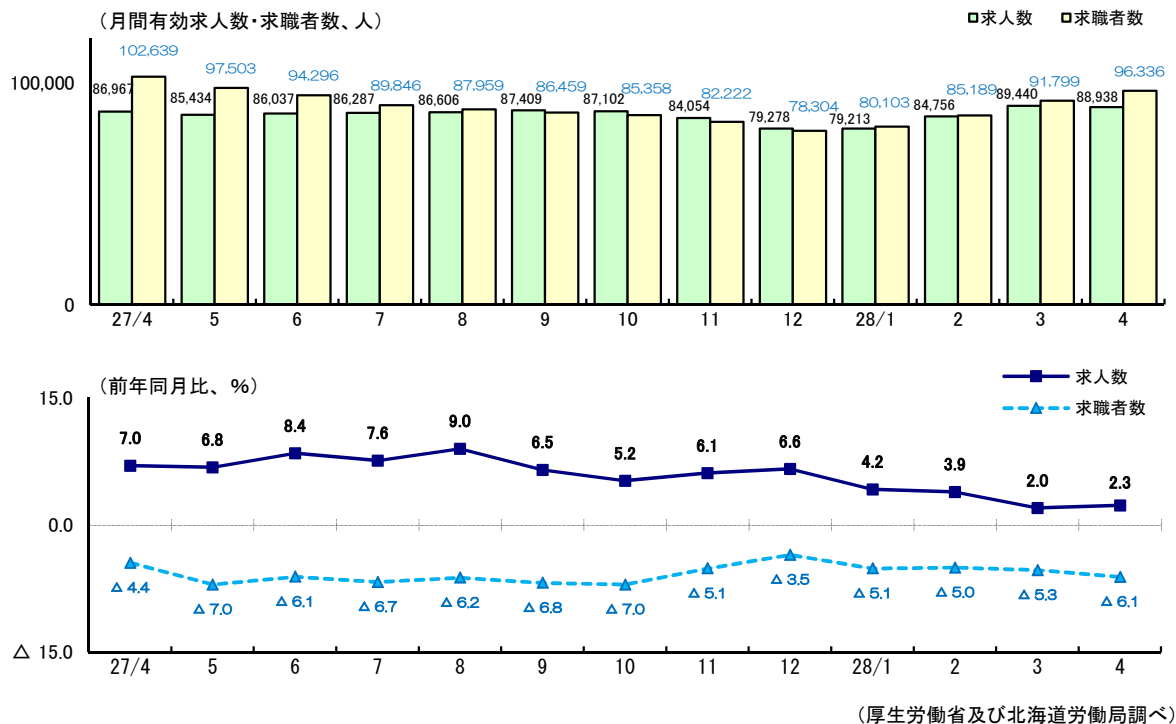
((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

[雇用動向]

■求人・求職～改善している

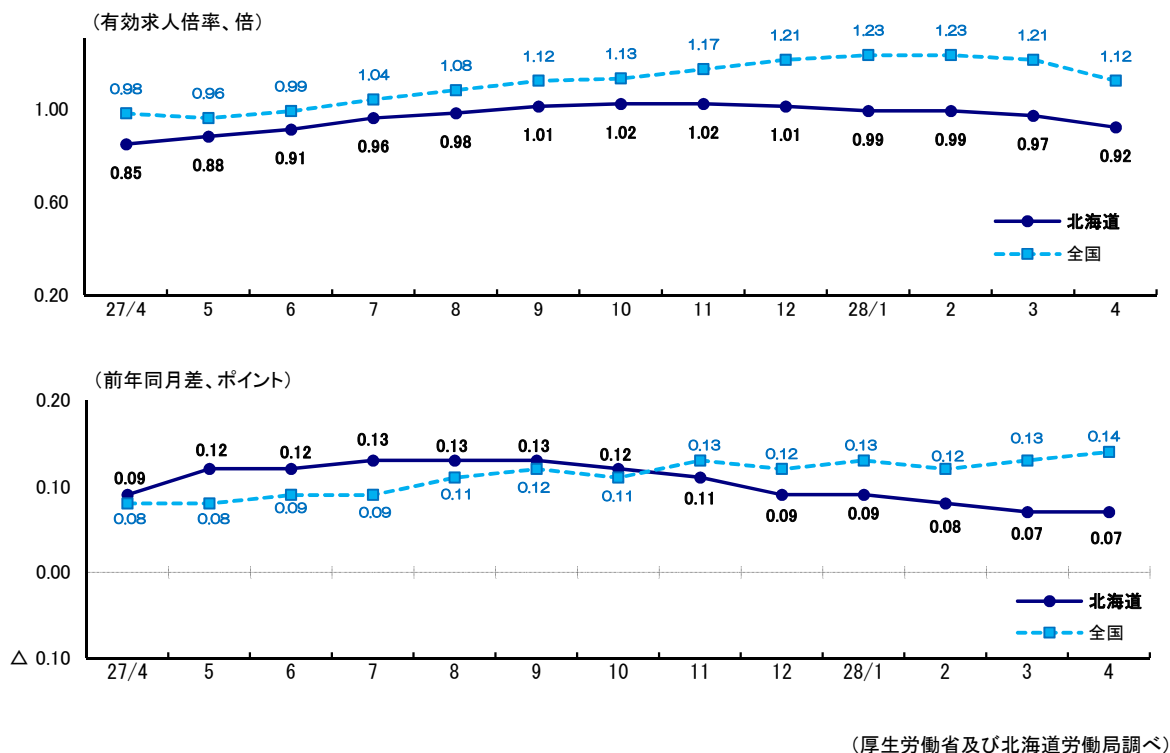
◆月間有効求人数・求職者数（4月）◆

月間有効求人数は、8万8,938人で前年同月比2.3%の増加となり、75か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、9万6,336人で同6.1%の減少となり、54か月連続で前年を下回った。



◆有効求人倍率（4月）◆

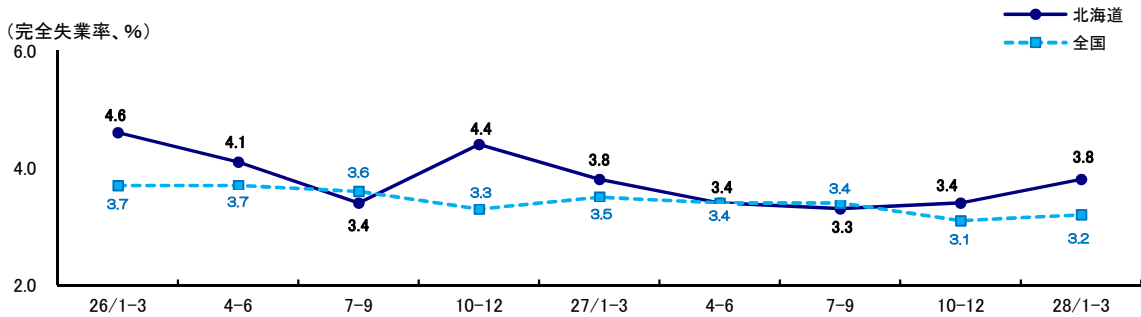
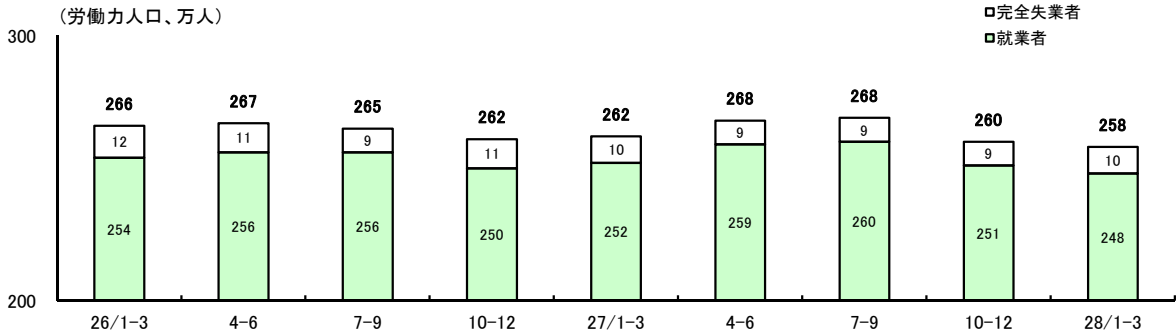
有効求人倍率は、0.92倍で前年同月差で0.07ポイントの増加となり、75か月連続で前年を上回った。



■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（28年1-3月期）◆

完全失業者数は、10万人で前年同期と同数となっている。
完全失業率は、3.8%で前年同期と同率となっている。



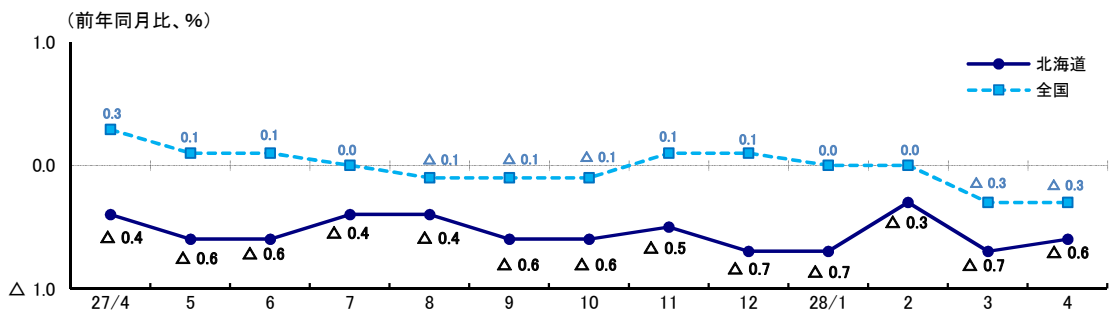
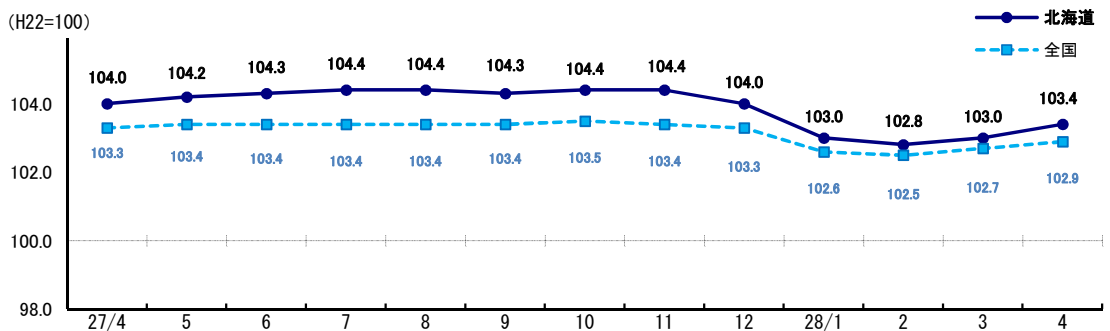
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価～消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（4月）◆

消費者物価指数は、103.4で前年同月と比べ0.6%の低下となり、13か月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【インバウンドによる売れ筋商品の変化により売上が減少】

5月は、ゴールデンウィークの前半に寒い日が続いたものの、中旬以降は3日連続の夏日を記録するなど異例の暑さが続き、月の平均気温が観測史上で最も高かった。このため、前半は春物の衣料、後半は夏物のクールビズ関連商品を中心に紳士・婦人衣料の売れ行きが好調であったものの、インバウンドの売れ筋商品が高級時計などの高額商品から比較的単価が低い化粧品、雑貨類にシフトしたため、客単価が抑えられたことや、前年同月と比べ土曜日が1日少なかったことが影響し、売上は前年を下回った。

【低金利を反映し「友の会」が人気】

一方、毎月一定額を積み上げるとプレミアム分を上乗せした額の買い物ができる「友の会」の販売促進を昨年11月から強化したところ、問い合わせや申し込みが増えている。特に、本年3月には、マイナス金利政策が導入された影響で、前年同月を大きく上回る新規の申し込みがあった。

◆スーパー(道央圏)

【運動会シーズンは好調】

5月は、前年と比べ土曜日が1日少なかったことや、ゴールデンウィークが悪天候であったこと、依然としてお客様の節約志向が続いていることなどから、既存店ベースでは売上が前年を下回った。

ゴールデンウィークは気温が低く天候が悪かったので、バーベキュー用の生肉類、デリカ類など行楽需要の売上が伸び悩んだ。

後半の運動会シーズンは、天候がよく、お弁当の予約なども好調で、前年を上回る伸びとなった。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【天候の影響で売上が減少】

昨年とは対照的に、今年5月のゴールデンウィーク期間中は肌寒い日が多かったため、行楽客を中心に来店客数が減少し、おにぎりや飲料水などこの期間に売上が期待できる商品が不調だった。

中旬以降、道内各地で夏日となるなど天候に恵まれ、アイスや飲料水などの売上が好調であった。

【地域の動き】

今年3月に開通した白糠～阿寒間の道東道などの公共工事が終了したことに伴い、道東地域では、工事関係者が減少している。

ゴールデンウィーク期間中は、道内観光地を中心に来店客数が減少。

◆食料品製造業(道北圏)

【販路の開拓など】

人口減少や高齢化、若い人の酒離れなどのため需要が頭打ちとなっており、海外への輸出を徐々に増やしている。

外国人観光客はツアーよりも個人で来ており、アジア人が多い。外国人観光客に向けた情報提供の一環として、外国語のパンフレットやHPを作成中。

年に数回、期間限定で商品を出しており、限定品は売れ行きが良い傾向がある。

照明をLED化したため、電気の使用量が減った。

【雇用】

季節雇用については、農家の方が多いため、収穫時期など人手の足りない月がある。

◆食料品製造業(道北圏)

【生産コストの動向】

原材料は海外から仕入れており、仕入額が為替の変動により影響を受けるため、今後、円高で推移した方がよい。

電気料金の値上げにより生産コストが増加したが、他社との競争もあり、販売価格に転嫁できないため、経営に影響を及ぼしている。

【人手不足への懸念】

工場では働いているパート従業員が高齢化しており、若い従業員を採用したいが、求人を出しても応募がないなど、人手不足の状況が続いている。

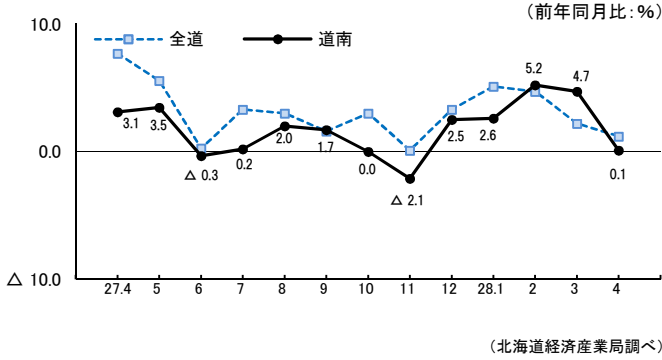
現在は、従業員のおよそ2割が海外からの研修生であり、貴重な戦力となっている。

[地域の経済動向]

■道南圏

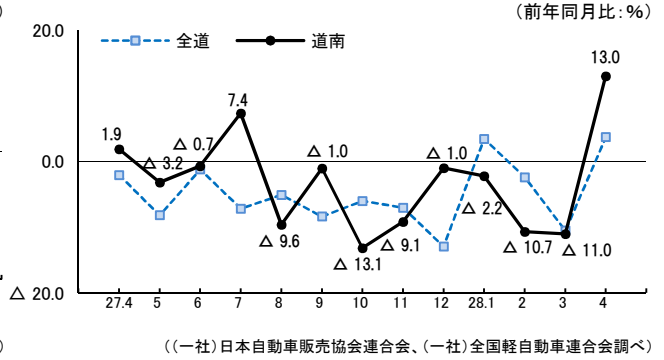
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(4月)◆

(全店、函館市)
5か月連続で前年を上回った



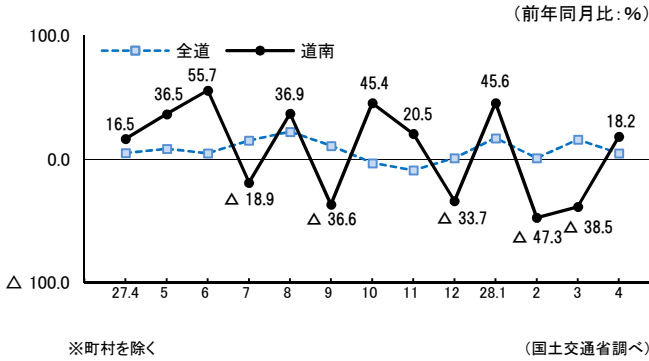
◆新車登録台数(乗用車)(4月)◆

9か月ぶりに前年を上回った



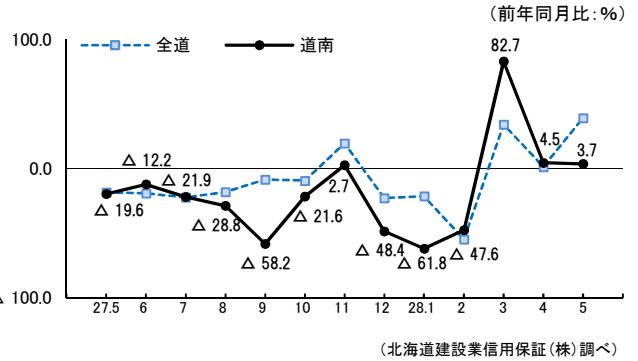
◆新設住宅着工戸数(4月)◆

3か月ぶりに前年を上回った



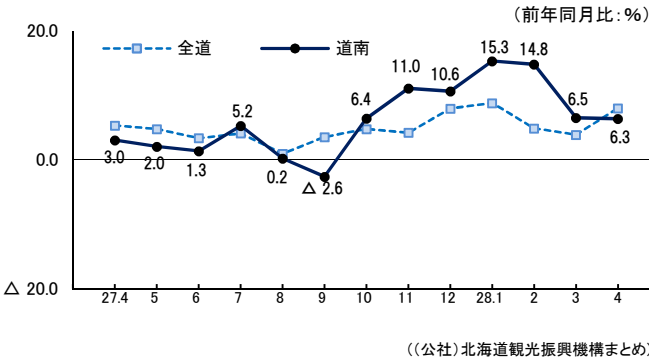
◆公共工事請負金額(5月)◆

3か月連続で前年を上回った



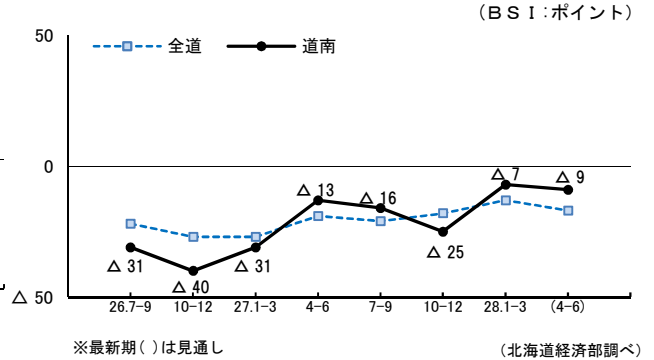
◆航空機利用による来道者数(着地別)(4月)◆

7か月連続で前年を上回った



◆企業の業況感(1-3月期)◆

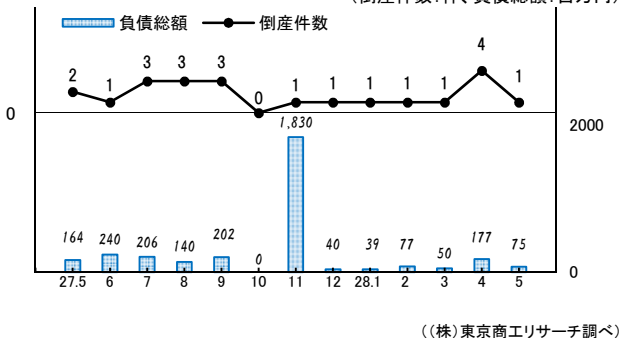
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(5月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

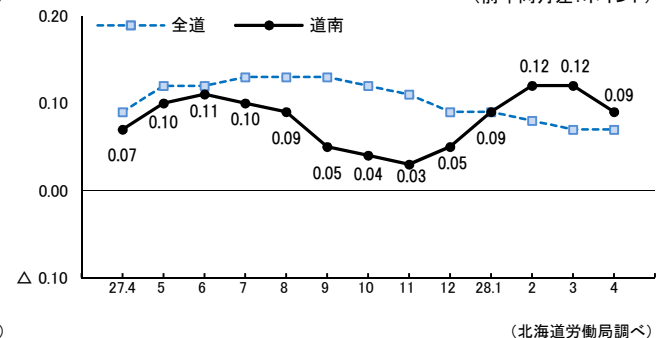
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(4月)◆

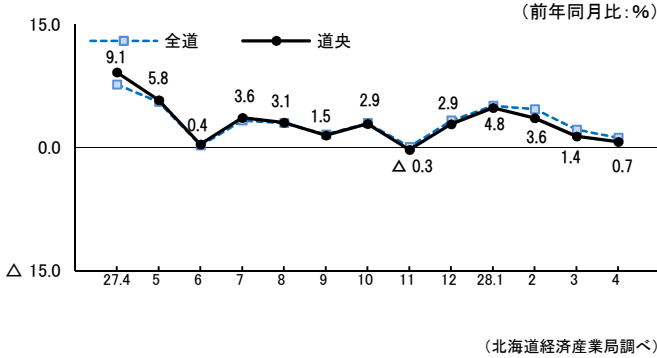
72か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

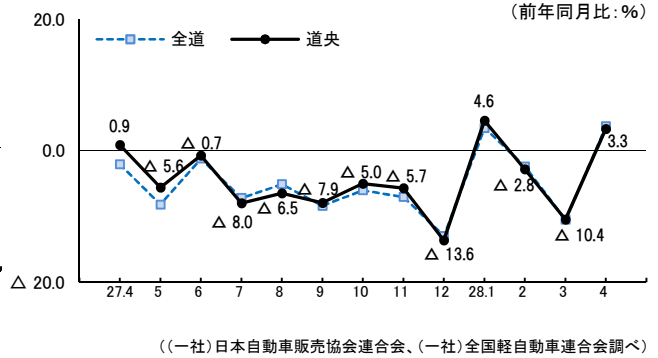


■道央圏

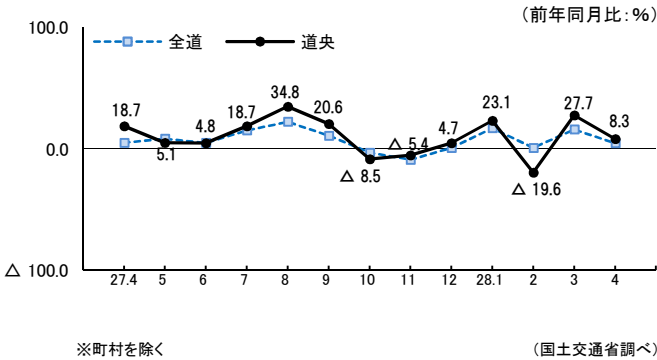
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(4月)◆ (全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市) 5か月連続で前年を上回った



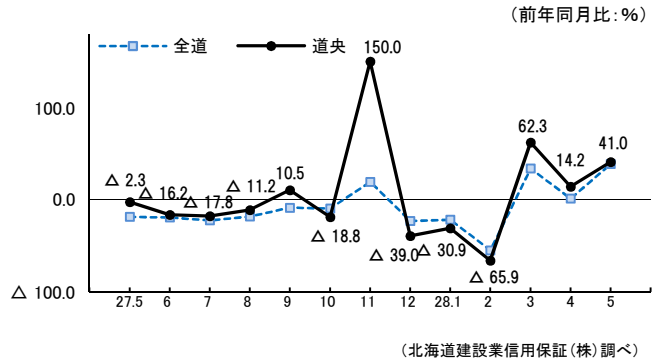
◆新車登録台数(乗用車)(4月)◆ 3か月ぶりに前年を上回った



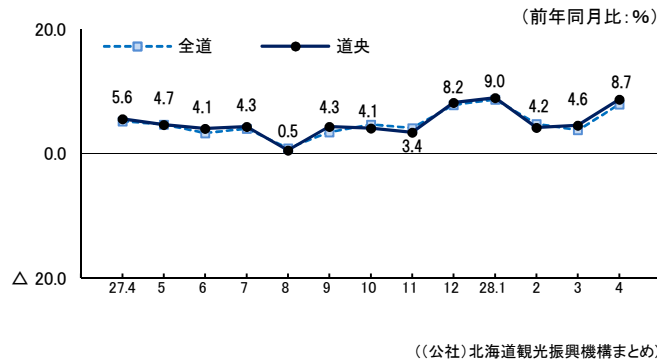
◆新設住宅着工戸数(4月)◆ 2か月連続で前年を上回った



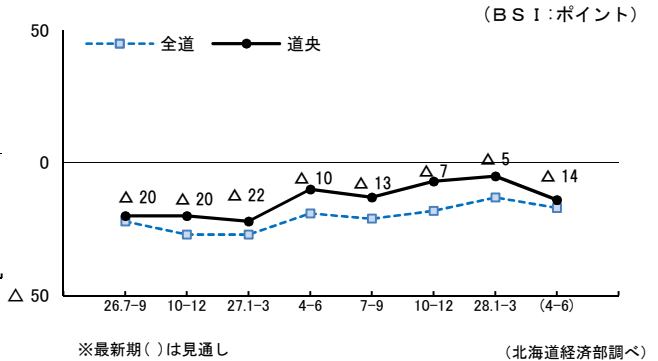
◆公共工事請負金額(5月)◆ 3か月連続で前年を上回った



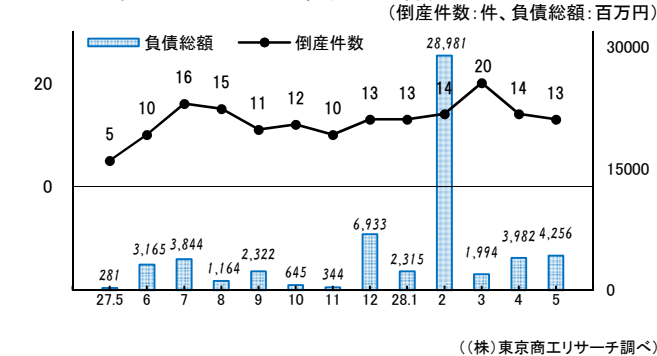
◆航空機利用による来道者数(着地別)(4月)◆ 22か月連続で前年を上回った



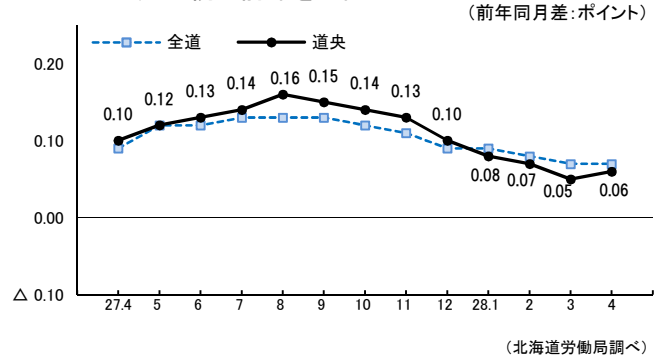
◆企業の業況感(1-3月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(5月)◆ 10億円以上の大型倒産が1件発生した



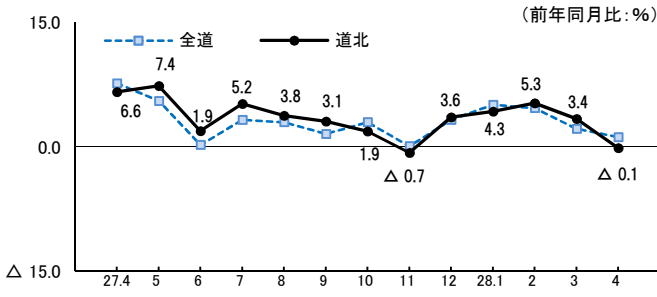
◆有効求人倍率(4月)◆ 74か月連続で前年を上回った



■道北圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(4月)◆

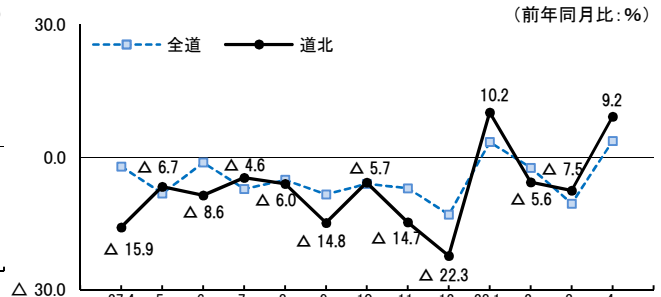
(全店、旭川市)
5か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(4月)◆

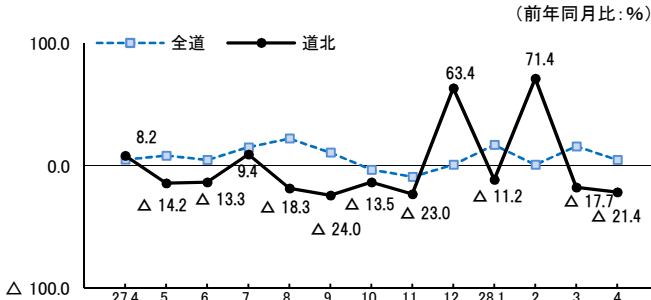
3か月ぶりに前年を上回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(4月)◆

2か月連続で前年を下回った

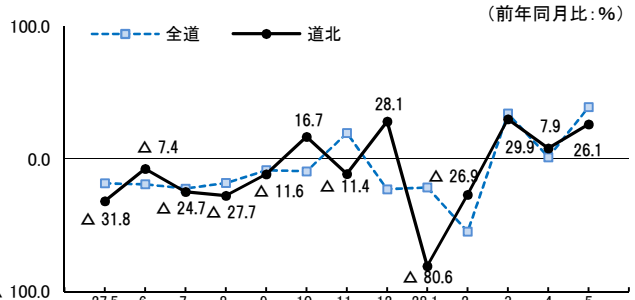


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(5月)◆

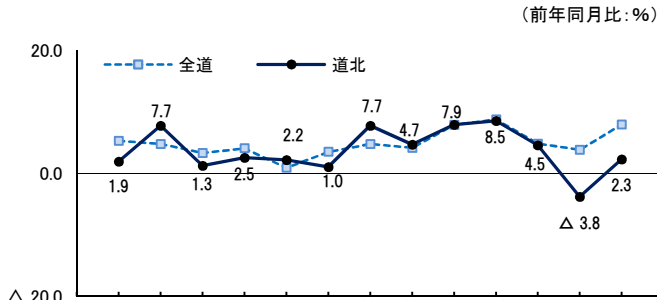
3か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(4月)◆

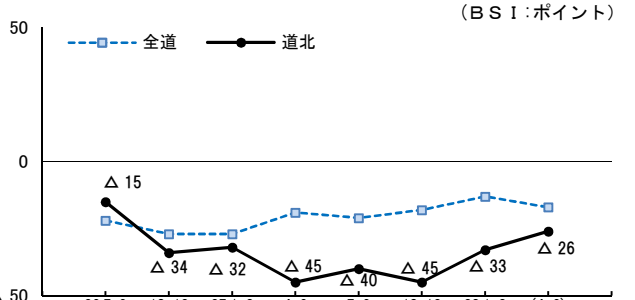
2か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した

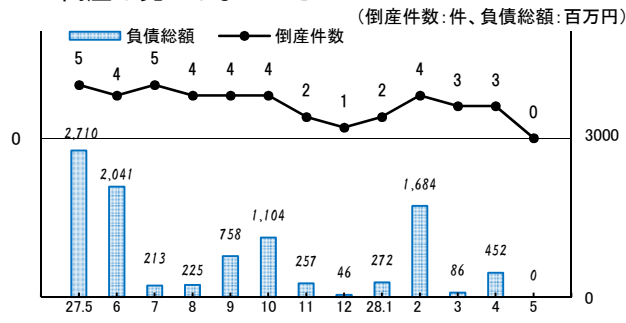


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(5月)◆

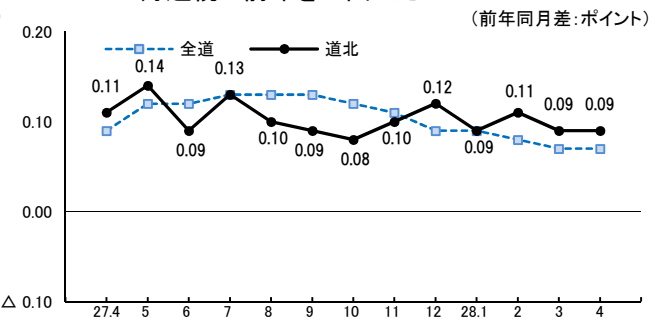
倒産は発生しなかった



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(4月)◆

76か月連続で前年を上回った

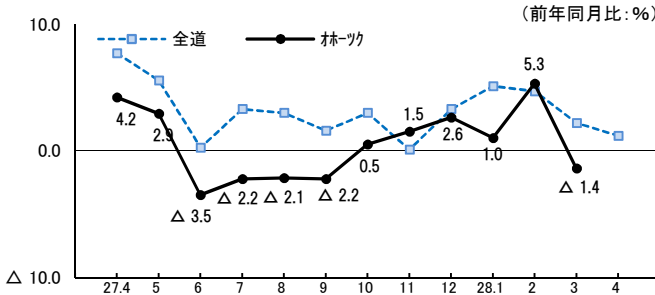


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高（全店）（3月）◆

6か月ぶりに前年を下回った

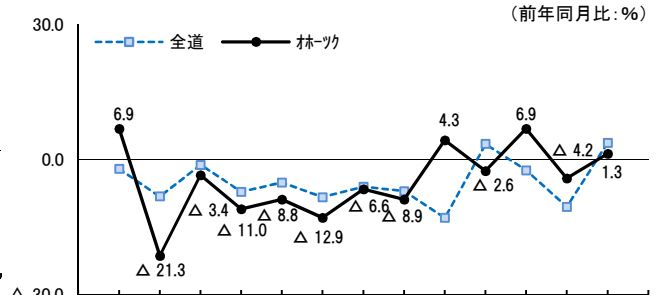


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)（4月）◆

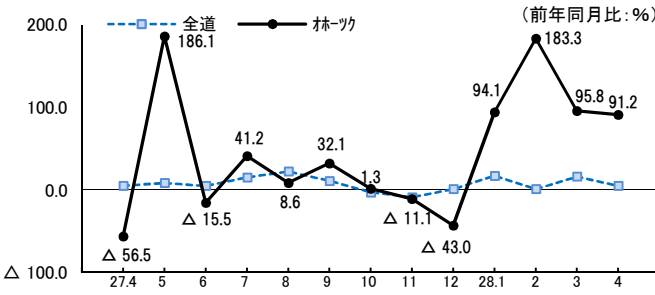
2か月ぶりに前年を上回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ

◆新設住宅着工戸数（4月）◆

4か月連続で前年を上回った

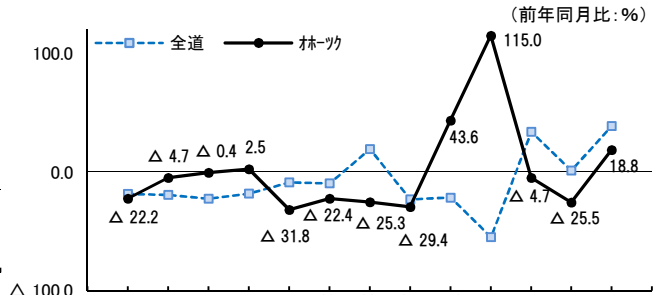


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額（5月）◆

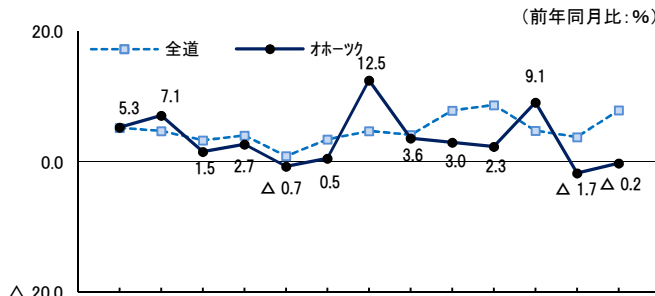
3か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)（4月）◆

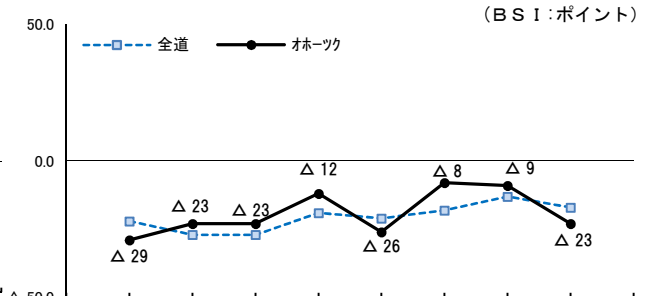
2か月連続で前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感（1-3月期）◆

前期からマイナス幅が拡大した



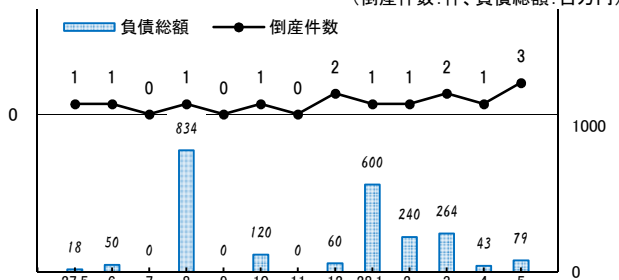
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額（5月）◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

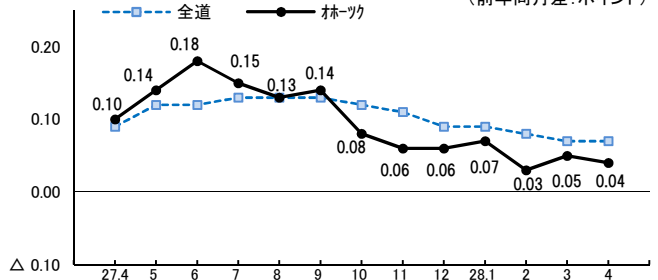


(株)東京商工リサーチ調べ

◆有効求人倍率（4月）◆

79か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)



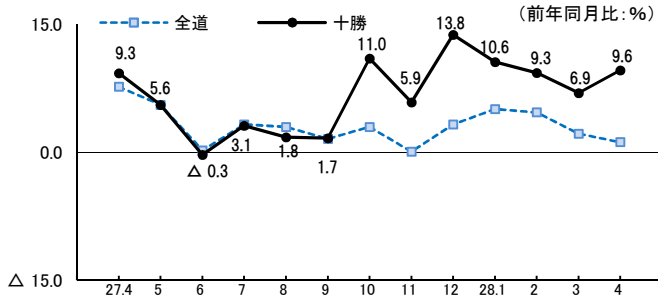
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(4月)◆

(全店、帯広市)

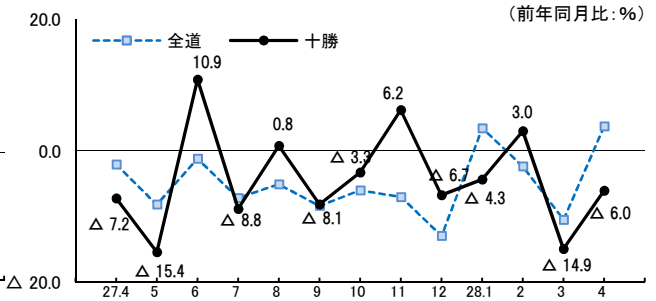
10か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(4月)◆

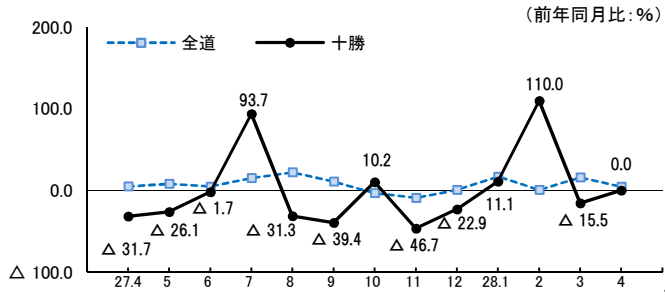
2か月連続で前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(4月)◆

前年と同数だった

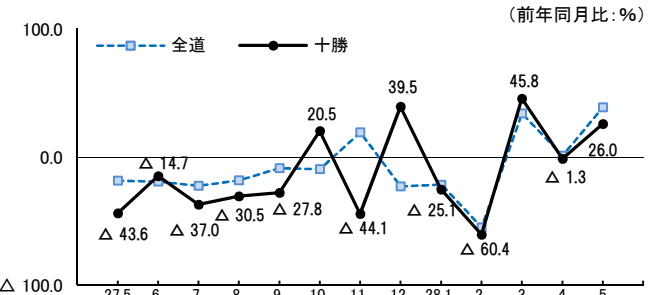


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(5月)◆

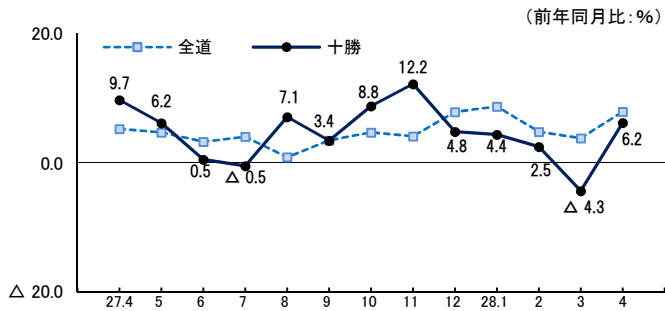
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(4月)◆

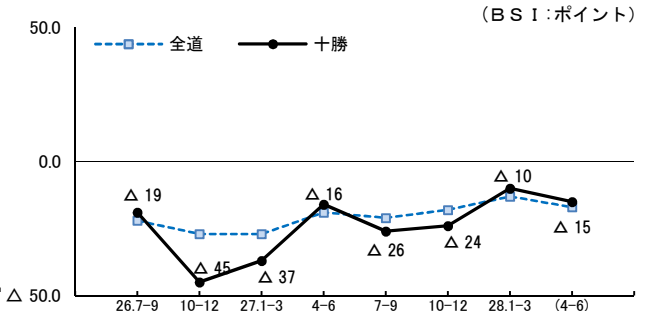
2か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



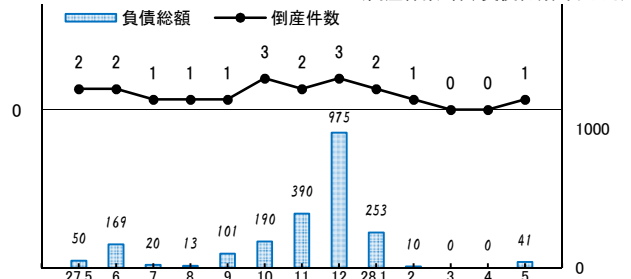
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(5月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

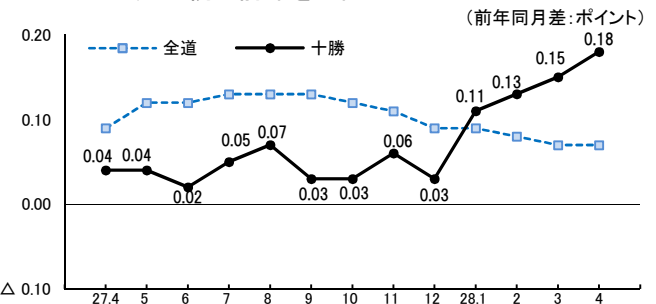
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(4月)◆

17か月連続で前年を上回った



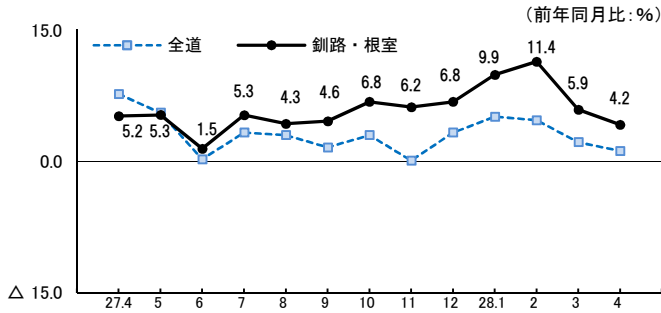
(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(4月)◆

(全店、釧路市)

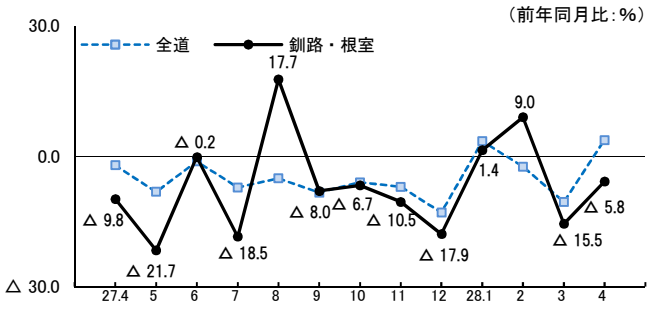
13か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(4月)◆

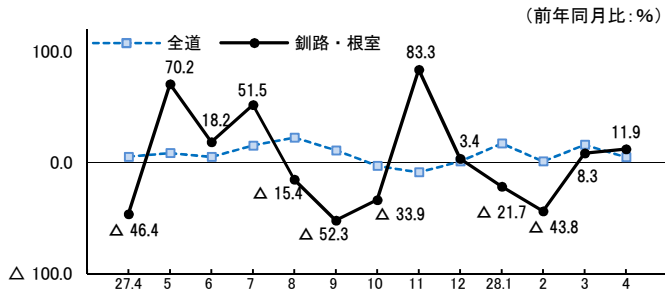
2か月連続で前年を下回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ

◆新設住宅着工戸数(4月)◆

2か月連続で前年を上回った

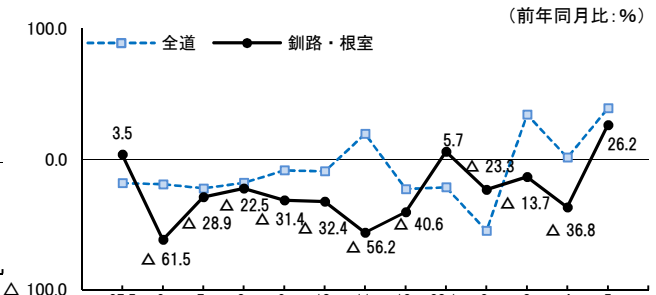


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(5月)◆

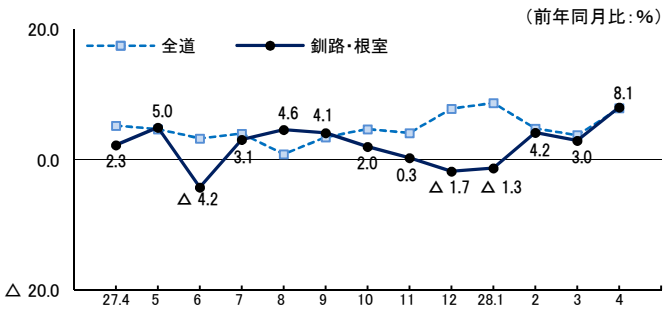
4か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(4月)◆

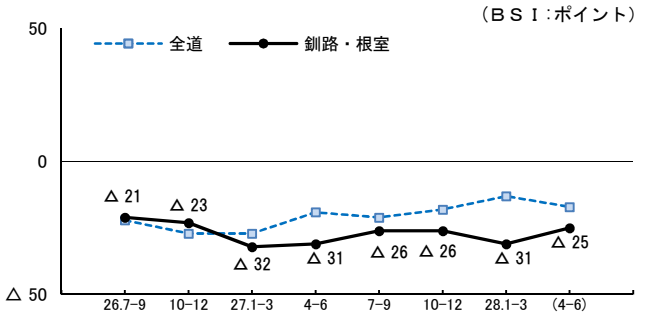
3か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



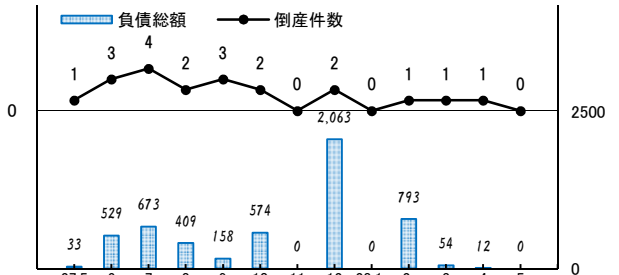
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(5月)◆

倒産は発生しなかった

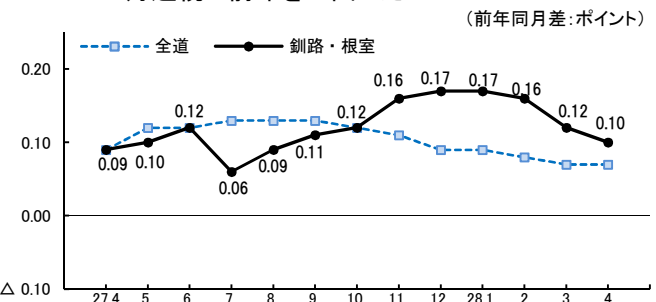
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ

◆有効求人倍率(4月)◆

77か月連続で前年を上回った

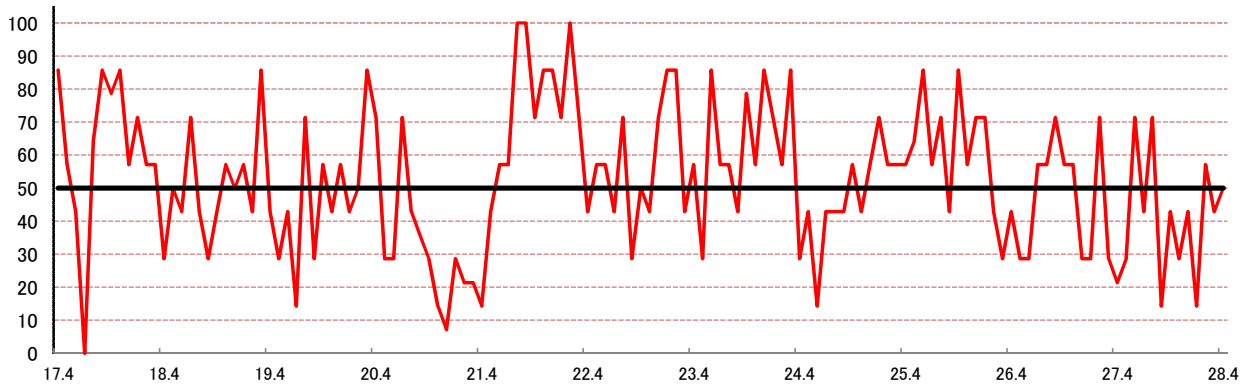


(北海道労働局調べ)

[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		27/ 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/ 1月	2月	3月	4月
先行系	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	+	+	+	+	-	+	-	+	+	+	-	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	+	+	+	-	+	-	-	-	-	+	-	+
	生産指数(生産財)	-	-	+	-	+	-	-	-	-	-	-	r +	p +
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	-	+	-	-	+	-	+	+	-	-	-
	新設住宅着工戸数	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+
	企業業況判断D.I.	+	+	+	-	-	-	+	+	+	0	0	0	0
	拡張系列数	4	6	6	4	3	2	4	2	4	3.5	3.5	3.5	4.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	57.1	85.7	85.7	57.1	42.9	28.6	57.1	28.6	57.1	50.0	50.0	r 50.0	p 64.3
一致系	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	-	-	+	-	-	-	+	+	+	-	-
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	+	+	-	-	-	-	+	-	r +	p +
	出荷指数(生産財)	0	-	-	-	+	-	-	+	-	-	-	r +	p +
	大口電力使用量	-	-	+	-	-	-	+	-	-	-	+	-	-
	百貨店販売額(既存店)	+	+	+	-	-	+	-	-	+	-	+	r -	p -
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	-	+	+	+	-	+	-	+	-	+	+	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	+	+	+	+	-	+	+	-	-	-	r -	p -
	拡張系列数	1.5	2	5	3	5	1	3	2	3	1	4	3	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6
	一致指数	21.4	28.6	71.4	42.9	71.4	14.3	42.9	28.6	42.9	14.3	57.1	r 42.9	p 50.0
遅行系	常用雇用指数(規模30人以上)	-	-	-	-	+	+	-	+	+	+	+	-	-
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	-	-	-	-	+	+	+	0	0	-	-
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	+	+	-	-	0	-	-	0	-	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-
	生産指数(資本財)	-	+	+	+	-	+	-	+	-	-	-	r -	p +
	拡張系列数	0	2	1	2	2	3	2	4.5	2	0.5	2	0	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	0.0	40.0	20.0	40.0	40.0	60.0	40.0	90.0	40.0	10.0	40.0	r 0.0	p 50.0

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。PIは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。
- ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、横ばいとなっている。
- ・企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、慎重さがみられる。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。また、平成28年(2016年)熊本地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

<内閣府月例経済報告(平成28.6.17)から抜粋>

最近の経済動向
平成28年6月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>